

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



2024年2月
Vol.19

〒669-3495
兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7
TEL:0795-88-5200(代表)

外来コンシェルジュナーズが 活動開始しました！



コンシェルジュナーズとは

外来フロアを巡回し、受診相談、緊急性の判断、来院者の様子観察、病気や通院中の困り事、生活上の疑問などの相談をお伺いします。気軽にお声かけください。



「コンシェルジュナーズ」という名前に込めた思い

コンシェルジュは中世の時代から、巡礼者が訪れる教会でホスピタリティ(思いやりと温かさ)を持って巡礼者を迎え、旅にまつわるトラブルを正しく導く手伝いをしていた、と言われています。また、現代においては、「よろず承り係」としてあらゆる要望に対応することが知られています。私たちは、外来を訪れる皆さまへコンシェルジュ精神で対応することをめざし、名付けました。



ピンクのコンシェルジュナーズベストが目印です

私たちは、このベストを着用して外来を巡回しています。来院する皆さまに声をかけていただきやすいようデザインしました。



ア

ヒルの鳥言葉は「安心」

私たちは来院される皆さんに安心を届けられるよう想いを込めて、ジャケットにアヒルの親子をデザインしました。





“各種教室” 開催しております

糖尿病教室のお知らせ／ご案内

当センターでは、糖尿病の患者さんやご家族の方などを対象に、年4回「糖尿病教室」を開催しています。

当教室では、糖尿病を正しく理解し、合併症に注意しながら上手にお付き合いできるよう、医師、薬剤師、検査技師、看護師・管理栄養士などの専門スタッフが、病態や検査、お薬や食事、日常生活の過ごし方などについてお話しをさせていただきます。

是非ともご参加いただき、一緒に学習して、正しい自己管理を身に付けていただければと思います。どなたでも無料でご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしています。

＊ ＊お申し込みが必要となります
内科診療窓口にて
お問い合わせください ＊ ＊



両親学級再開しています！

お待たせしました！昨年12月より両親学級を再開しました。

妊婦さんと、パートナーやご家族の方が、妊娠・出産・育児への理解を深め、心身の準備ができるよう、助産師がアドバイスさせていただきます。知識を得るだけでなく、体験しながら学び合えるこの機会が、仲間づくりや、家族の絆の深まりにもなると思います。授乳や沐浴・おむつ体験、妊婦体験も出来ますので是非ご家族の方も一緒にご参加ください。



対象：妊娠 28 週以降の妊婦さん
(家族 1 名付添い可能ですが
大人に限ります)

日時：第 1 火曜 第 3 木曜日 13：00～14：30
受講を希望される方は電話でご予約ください
(予約センター：0795-88-5222)

がん患者サロンを再開しました！

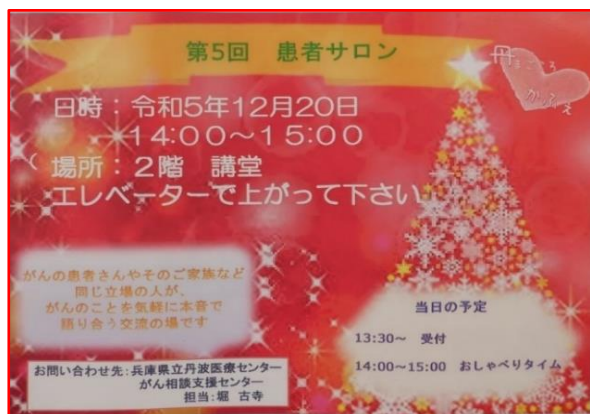


参加者同士が実際現地で対面してお話する、対面式での「がん患者サロン」を約3年ぶりに再開しました。

参加者の皆さんには、開催日の1週間前から健康チェックを行っていただき、当日は体温測定と手指消毒を徹底し、感染予防対策に努めるようにしました。

参加者は3名でしたが、少人数の利点を活かしてゆっくりと話を聴いたり質問する時間をとることができました。参加された方は、「同じ病気を経験した方に聞きたいことがあったので参加しました」「対面で話ができてよかった」と話されていました。

今後も感染予防対策を徹底して、直接顔をみてお話ができるサロンの開催を継続していきたいと思っていますのでぜひご参加ください。



※写真撮影、掲載は同意を得ています

地域包括ケア病棟のご紹介 & レスパイト入院のご案内



また、自宅療養中の患者さんを日々介護している方への支援として『レスパイト入院』を行っています。現在も、介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により一次的に在宅介護が困難となることで入院を希望され、受け入れをしています。

ご利用できる方は医療的ケア（褥瘡、痰の吸引、胃瘻、在宅酸素など）が必要な方や緩和ケアが必要な方です。なお、利用期間は原則7～10日間で、リハビリテーションを行いません。

地域包括ケア病棟では、急性期治療を経過し病状が安定した患者さんが「もう少しリハビリしたい」「自宅へ帰る準備がしたい」など在宅等への生活に帰ることに不安な方へ、リハビリテーションや療養指導、在宅サービス調整などを行うための病棟です。

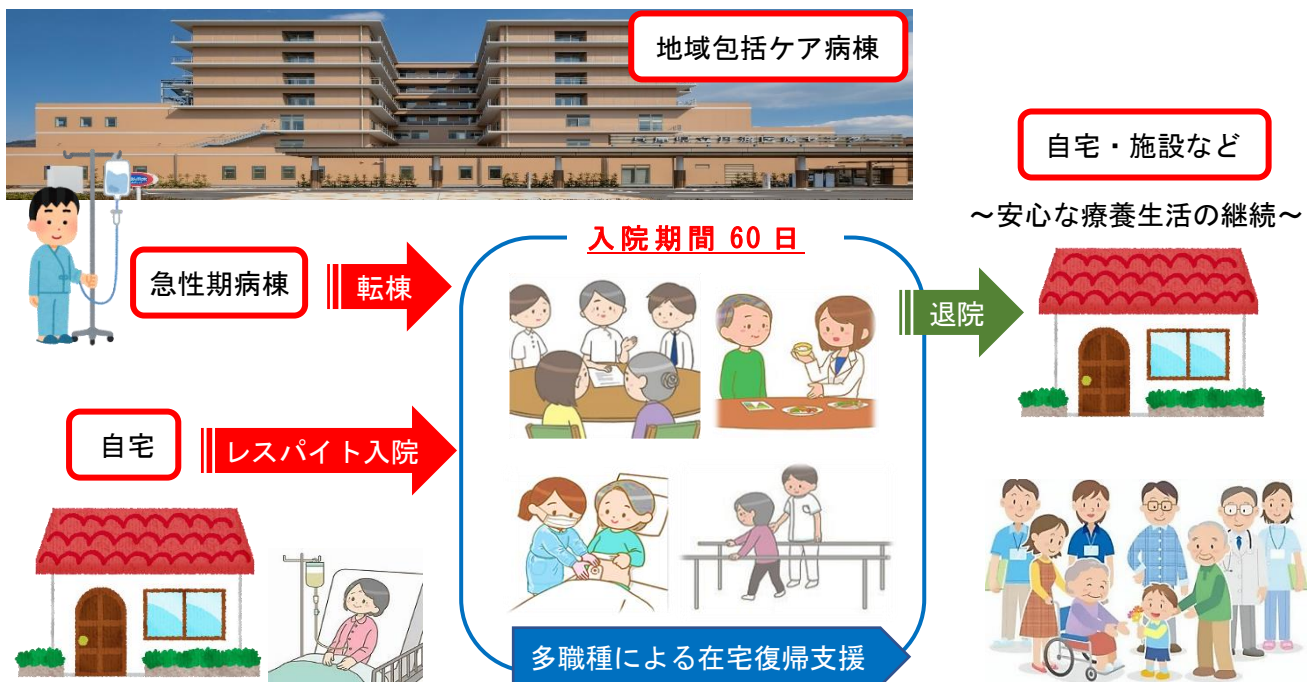
在宅復帰に向けて、患者さんの思い、ご家族の思いに寄り添い、安全で安心した環境に退院できるよう、多職種でサポートしています。

ご自宅で介護をしているご家族の方へ

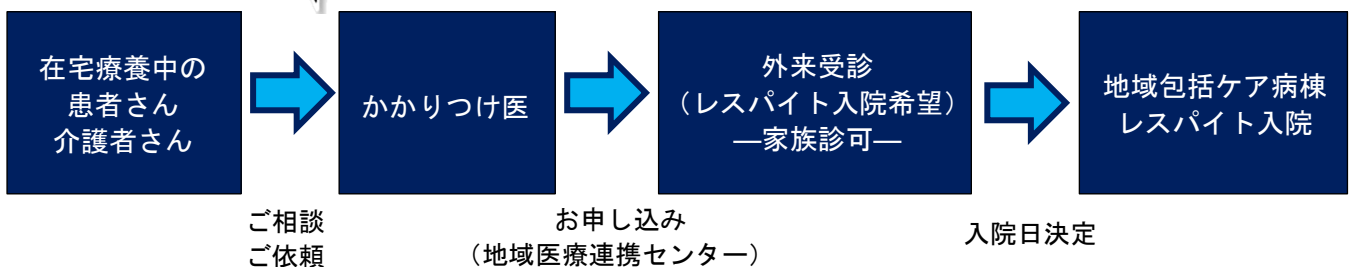
レスパイト入院で

介護のひと休み

しませんか？



申し込みについて



MRI 装置に関するお知らせ

MRI は磁気共鳴画像診断 (Magnetic Resonance Imaging) の略で、人体の中にたくさん存在している水の状態を、非常に強い磁石の力を用いて信号とし、コンピュータで処理して画像にします。

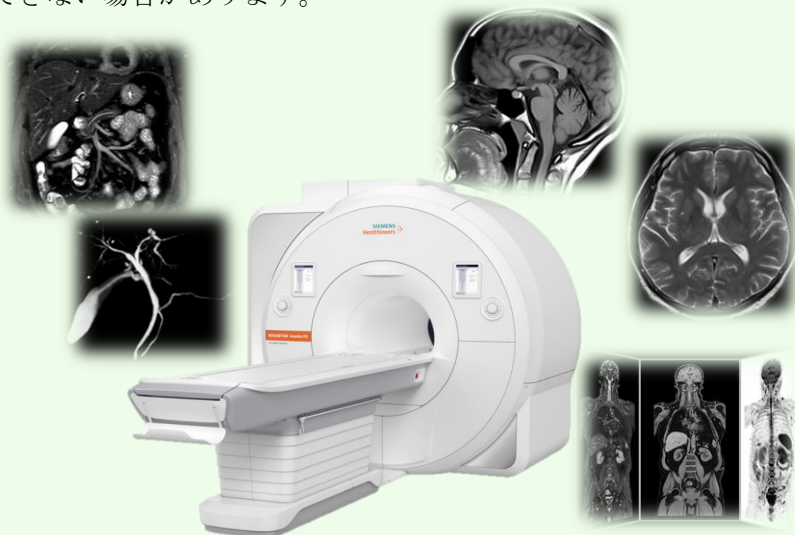
メリットとしては、強力な磁石を用いることで放射線による被ばくを伴わずに撮像できます。また、脳など主な血管の描出を造影剤なしで低侵襲的に行うことができます。

デメリットとしては、撮像に時間を要し動きに弱く、検査時間が 30 分程度かかり、造影剤を使った検査では 1 時間程度かかる検査もあります。また、体内に金属 (ペースメーカー、金属インプラント等) の入っている方や閉所恐怖症の方については検査できない場合があります。



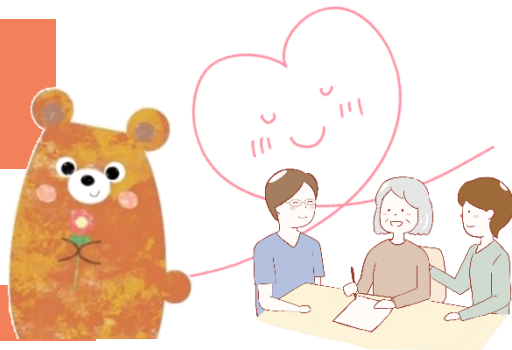
1.5T 装置バージョンアップのお知らせ

当センターでは現在 2 台の MRI 装置 (1.5T と 3.0T) が設置されていますが、令和 6 年 4 月より 1.5T の MRI 装置を SEMENS 社製 MAGNETOM Avant Fit with BioMatrix にバージョンアップします。それに伴い既存装置のハードウェアが一新され、Compressed Sensing という新たな技術を搭載することで、従来よりも短時間かつ高精細な検査が可能になります。



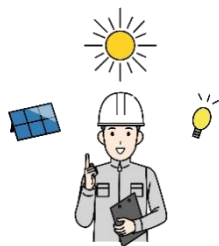
在宅緩和ケア研修会を開催しました

看護師長 青木 雅代



丹波近隣地域の在宅緩和ケアの診療や訪問看護に携わる医療者の方々に参加いただき、研修会を開催しました。総勢 24 名の参加があり、緩和ケア病棟やがん性疼痛看護認定看護師の紹介、病棟専任医師による勉強会を行いました。また、緩和ケア病棟を退院された患者さんの事例検討を行い、自宅での様子や退院支援に必要な連携など意見交換しました。その中で、在宅療養を支えるためにはご家族への支援も必要であり、地域で在宅緩和ケアを提供するためには基幹病院のバックアップ体制が重要であることを伝えていただきました。また、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) とは、人生最終段階の医療について予め決めておくことだけでなく、その人がどう生きたいかを身近な人と共に繰り返し検討する過程だと考えている、という意見もありました。緩和ケア病棟においても、ACP の延長線上に退院支援があると捉え、希望があればタイミングを逃さず介入できるよう努めています。

「最期まで病院で」「最期まで在宅で」という思いが揺らいだ時にも、患者さんやご家族の意思決定を支援できるよう、地域の医療者の方々とより一層連携を図り、バックアップ体制を整えながら医療・看護をつないでいきたいと考えます。



太陽光発電設備設置工事の竣工

兵庫県立丹波医療センター東南側の駐車場に、太陽光発電設備を設置する工事が令和5年12月1日（金）に竣工しました。

これは、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギー導入量を2030年度までに倍増させる目標を掲げる兵庫県の地球温暖化対策推進計画の一環として行われたものです。初期投資なしで再生可能エネルギーの導入が可能なPPA「Power Purchase Agreement」方式（第三者所有型モデル）を採用しています。

工事では、ソーラーカーポートが14基設備され、発電出力は300kW、年間発電量は383,939kWh/年を見込んでいます。



地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。
医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様に良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
今号は、建井医院 建井 務先生をご紹介します☆

建井医院 建井 務先生(丹波篠山市)

12月22日に建井医院を訪問し、丹波篠山市医師会の副会長でもある建井務院長にお話を伺ってきました。建井先生は丹波篠山市のご出身で、昭和61年に京都府立医科大学を卒業され、元々のご専門は放射線診断だったそうですが、昭和33年に開業されたお父様から平成4年に継承されたとのこと。高齢の患者さんが多く、先生を子供の頃から知っている患者さんも通院しているそうです。以前は訪問診療や看取りにも力を入れておられたそうですが、年々、その数は減ってきているようです。すぐ近くに岡本病院がありますので、そこで詳しい検査をしてもらったり、紹介したりすることが多いようですが、最近では丹波医療センターへ紹介することも増えているそうです。お子様に医師になられた方が居られない為、自身の継承の問題もありますが、病診連携も含めて、丹波篠山市の医療の行く末も案じておられました。医師の高齢化問題や地域医療の将来など、考えさせられることの多い対談だったと思います。（芝記）



外来診療担当表 (令和6年2月)

診療科 \ 曜日		月	火	水	木	金	備考
内科	一般、初診	藤井 康和 (消化器・肝臓・腎臓) 林 友鴻	担当医	見坂 恒明	森 寛行	見坂 恒明	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
	専門	河崎 悟 (循環器)	新倉 悠人 (循環器)	松本 賢亮 (循環器) 佐藤 悠 (消化器)	岩根 成豪 (循環器)	松本 賢亮 (循環器)	◎ 水曜 松本医師 診療時間 第2・4水曜は10:30まで
		西崎 朗 (消化器)	星島 正彦 (循環器・腎不全)	津田 一範 (消化器)	西崎 朗 (消化器)	朝治 直紀 (消化器)	
	予約再診	森 寛行		藤井 康和	藤井 康和	第1・3・5 田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ ◎ 午後(再診のみ)
	呼吸器	奥野 恵子	小林 和幸 奥野 恵子(腫瘍) 第1・2・3・4 午後			奥野 恵子	
	ペースメーカー		河崎 悟				
	糖尿病		井上 朋也		鈴木 正暉 第4 14時~ 大橋 紳一郎		
	緩和ケア		板倉 崇泰 午後			田中 祐子	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	がん治療支援	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	田中 祐子	
	脳神経内科	(午前) 辻 麻人 (午後) 吉越 裕之	大塚 喜久	大塚 喜久		大塚 喜久	
	腫瘍・血液内科		薬師神 公和		水谷 優	水谷 優	
	膠原病 リウマチ内科				第2・4・5 河野 誠司	上田 洋 (第1・3・5) 山本 英里子 (第2・4)	
	肝臓 禁煙・睡眠無呼吸				上田 佳秀 星島 正彦		
小児科	1 診	井上 真太郎	永井 貞之	井上 真太郎	永井 貞之	酒井 國安	
	2 診	金谷 昂保	錦織 朱	松岡 輝	金谷 昂保	錦織 朱	
	3 診	松岡 輝				井上 真太郎	
	専門外来(予約)	第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経	井上 真太郎 (夜原症・循環器) 酒井 國安 (アレルギー疾患)		松岡 輝	永井 貞之 金谷 昂保	
外科	一般・消化器	寺井 祥雄	担当医	藤田 恒憲	上田 泰弘	大野 伯和	
		伊藤 良太		濱中 統親			
	乳腺外科	第1・3 肝臓 木戸 正浩		第2・4 肝臓 木戸 正浩			
整形外科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ 金曜 芝医師は初診のみ
		山本 顕	今井 貞之 上本 晴信 (予約のみ)		山本 顕	今井 貞之	
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施
脳神経外科	甲田 将章 (第1・3・5) 藤本 陽介 (第2・4)	岡村 有祐	担当医 (予約のみ)	岡村 有祐	井村 隼		◎ 水曜 予約診察のみ(救急対応要相談)
皮膚科		千原 拓也	村田 洋三	藤原 進	村田 洋三		◎ 受付時間 火曜 11:00まで
泌尿器科		岡本 雅之	山崎 隆文	岡本 雅之	山崎 隆文	兵頭 洋二	◎ 受付時間 月~木曜 11:00まで 金曜 10:30まで
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	望月 慎介	鈴木 美奈子	
	2 診	出口 雅士	三原 綺乃	担当医	宮下 幸一	中島 由貴	
	周産期		担当医		担当医		◎ 午後のみ・予約診察のみ
眼科		9時30分~ 棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆	金光 聖隆	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30~ ◎ 林医師は予約診察のみ
			林 一	林 一	午後 林 一		
耳鼻咽喉科	午後 四宮 弘隆 (第1・3・5) 上田 隆 (第2・4) 柿木 章伸 (予約のみ)	由井 光子	午後 蓼原 瞬		柿木 章伸	手島 直則 (第1・3・5) 古川 竜也 (第2・4)	◎ 受付時間 月~水、金曜 11:00まで 木曜 10:30まで ◎ 月・水曜 午後のみ
放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診察のみ
	リニアック	別所 良祐				梶原 彰文	
歯科口腔外科		竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	◎ 予約診察のみ